北摂里山博物館構想の進展に向けて

北摂地域には素晴らしい里山が数多く分布しています。その中には「日本一の里山」と称されているものもあります。北摂地域ではこのような里山の保全・活用に向けた取り組みが活発に行われています。代表的な例の一つが北摂里山博物館構想です。この構想は阪神北県民局が中心になって策定したもので、北摂地域全体をエコミュージム（北摂里山博物館）として整備し、地域内の自然、特に里山を積極的に保全・活用していくことを目指しています。私達は北摂里山博物館構想の進展に向けた自治体（県・市・町）、市民団体、民間企業などの取り組みを積極的に支援しています。これまでの主な活動内容は下記のとおりです。

北摂里山大学

北摂里山大学は北摂里山博物館運営協議会（構想の円滑な推進のために設立された組織）が主催する事業で、里山活動の担い手の育成を主な目的としています（学校教育法上の大学ではありません）。2012 年度から毎年実施されており、2016 年度も実施の予定です。当大学のカリキュラムは年 10 回程度の講座から構成されています。定員は 25 名程度で、年度ごとに新規受講生の募集が行われています。私達は講座の講師を務めるなど様々な形で当大学の運営に協力しています。

北摂 SATOYAMA 国際シンポジウム

2014 年度に北摂 SATOYAMA 国際シンポジウムが開催されました。主催は兵庫県阪神北県民局、アジア太平洋地球変動研究ネットワーク、地球環境戦略研究機関、北摂里山博物館運営協議会の 4 者です。プロジェクト代表者である石田が企画内容に対する助言、シンポジウムの趣旨説明、パネルディスカッションのコーディネート、エクスカーションのガイドを行いました。

北摂 SATOYAMA 国際ワークショップ

2015 年度には北摂 SATOYAMA 国際ワークショップが開催されました。主催は上述の国際シンポジウムと同じです。プロジェクト代表者である石田が企画内容に対する助言、ワークショップのファシリテート、ワークショップの成果報告を行いました。

北摂里山魅力づくり応援事業

北摂里山魅力づくり応援事業は北摂里山博物館運営協議会が主催する事業で、北摂地域での里山活動に対して 1 件あたり上限 30 万円の助成を行っています。2015 年度には 19 団体が助成を受けました。私達は助成団体の活動が円滑に進むよう、必要に応じて助言や指導などを行っています。

北摂里山大学と北摂 SATOYAMA 国際ワークショップの案内チラシ

北摂里山博物館構想支援プロジェクト
代表者：石田弘明
分担者：黒田有寿茂、橋本佳延
協力者：矢倉資喜（公益財団法人ひょうご環境創造協会）

財源：阪神北県民局予算、研究部研究費など